

## スーパーグローバル大学創成支援事業 令和2年度中間評価結果

大学名	東京医科歯科大学
整理番号	A05
構想名	TMDU型グローバルヘルス推進人材育成構想：地球規模での健康レベル向上への挑戦

### ◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b>A</b>	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
<p>(コメント)</p> <p>本構想は、医療系総合大学として、医療保健分野で世界規模での健康レベル向上に貢献できるグローバルヘルス推進人材の育成を目的に、大学のガバナンス体制強化、教育改革、海外拠点強化とそれらを活かした教育研究の展開等により、①アジアにおけるグローバルヘルス推進人材育成／研究拠点としての地位の確立、②世界規模の健康課題克服のための革新的ソリューションの提供、③グローバルヘルス推進に取り組む国内外機関との強固なパートナーシップ・ネットワークの形成、という3つのゴールを目指すものである。</p> <p>構想実現のための体制整備として、全学的かつ部門横断的な「統合教育機構」と「統合国際機構」を新設し、学内の人的資源の集約や国際化に向けた取り組みが着実に実施されている。入試改革では特別選抜枠において国際バカロレアの導入など多面的な入学者選抜が進められている。大学院修士・博士課程では外国語のみで修了できるコースの増設が進み、グローバルヘルスリーダー養成コース修士(MPH)等が設置され、MPHコースでは第一期生の修了があった。また海外拠点を活用した教育研究展開を積極的に進めている。さらに、海外の大学とジョイント・ディグリー・プログラムを開設し、国際共同教育と人材育成も開始するなど、専門性の高い医療系大学でありながら国際化のために様々な取り組みを行っている点は評価に値する。</p> <p>また、医学・歯学系分野に特化した大学の特性を活かし、本構想の旗艦的取り組みであるグローバルヘルスリーダー養成コースの開設や世界大学ランキングでの向上を図るなど、多くの取り組みを積極的かつ着実に実行している点は高く評価できる。世界トップレベルの大学との連携をさらに推進し、より一層の国際化が図られることを期待する。</p> <p>一方で、比較的小規模な大学としては執行体制がやや複雑な感は否めない。ガバナンス体制や教育改革は順調な進捗が見られるが、研究面における対応は十分とは言えない。「統合研究機構」が設置されているが、未だ具体的成果の報告が見られない。今後、強みのある研究分野への資源の重点配置などによる飛躍的な研究力向上等、積極的な検討が必要である。学士課程では国民の健康増進を担う医療系専門職業人の育成が中心とならざるを得ず、大学院課程と比べ国際化には後れを取っているが、海外での研究実習・臨床実習のためのカリキュラム整備を行うなど、教育の質的向上に努めており、今後の進展に期待したい。</p> <p>国からの財政支援期間終了後の自走化に向けた大学独自の財政基盤強化の計画に沿って、大学の教育資源や保有資産の活用等に積極的に取り組んでもらいたい。</p>	